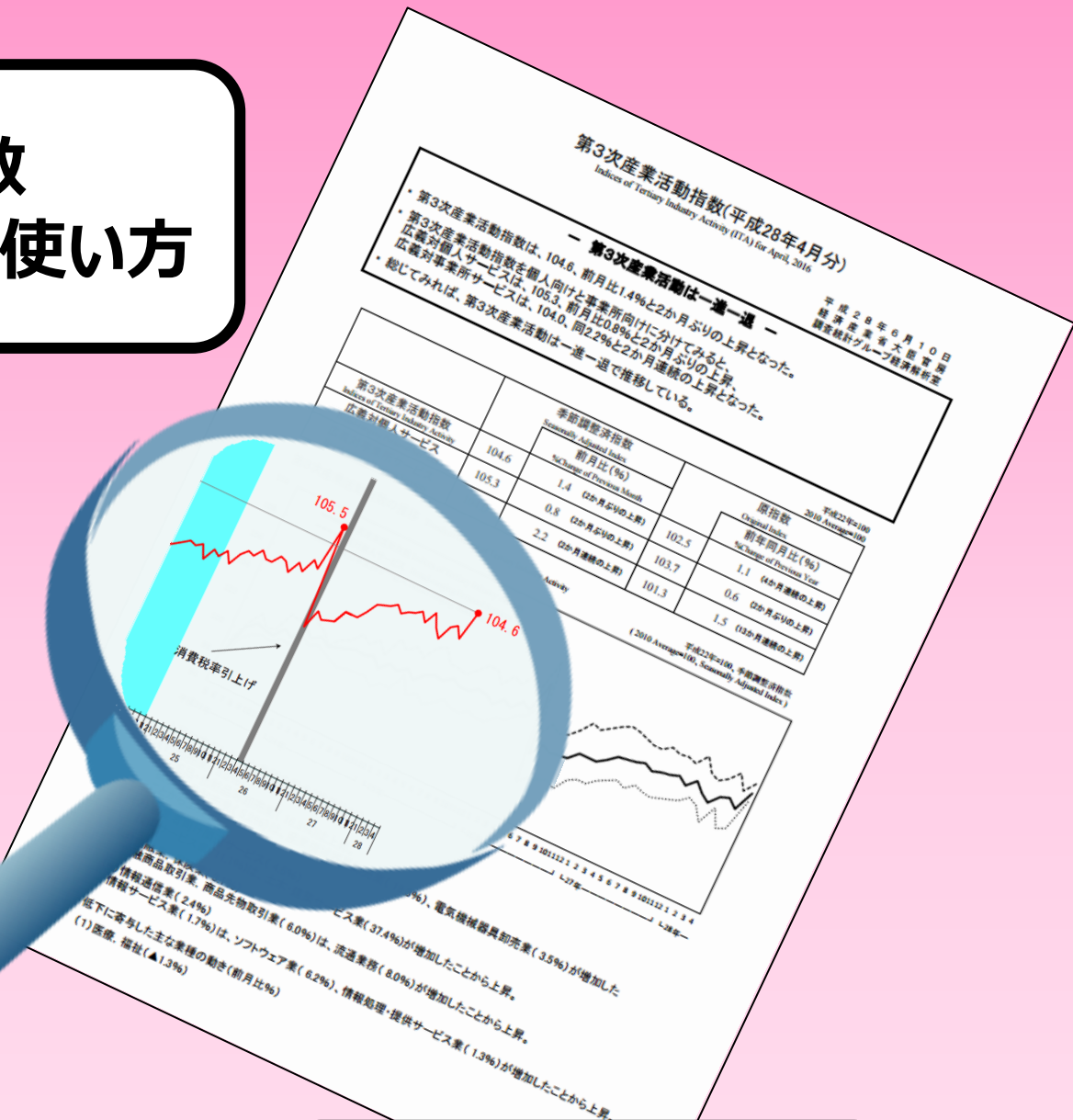


第3次産業活動指数 公表資料の見方／使い方



目次

1. 第3次産業活動指数について

- ① 第3次産業活動指数とは？ ⇒ [P2～](#)
- ② 第3次産業活動指数から分かること ⇒ [P4～](#)

2. 第3次産業活動指数 公表資料の見方

- | | 公表資料 | 本書 |
|----------|------------------------|------------------------|
| ① P1 | 「第3次産業活動指数の動向」の見方 | ⇒ P7～ |
| ② P2 | 「上昇・低下に寄与した業種」 // | ⇒ P14～ |
| ③ P3 | 「第3次産業活動指数の推移(グラフ)」 // | ⇒ P17 |
| ④ P4～8 | 「主要業種別指数時系列表」 // | ⇒ P18～ |
| ⑤ P9～12 | 「 // (再編集系列)」 // | ⇒ P21 |
| ⑥ P13～20 | 「業種分類別活動指数の動向」 // | ⇒ P22 |

1-① 『第3次産業活動指数』とは

= **第3次産業**の活発さを表す統計
指数が大きいほど、活動が盛ん

Q1. **第3次産業**とは？

※経済産業省が毎月公表

A1.

第1次産業(農業など)、第2次産業(製造業など)以外の**サービス業などの産業**
※全産業の就業者数や国内総生産の約7割を第3次産業が占めている

ex.

- ・銀行、保険会社など**金融業**
- ・弁護士などの**専門サービス業**
- ・プロ野球や映画など**娯楽業**
- ・英会話教室、塾など**学習支援業**
- ・百貨店、コンビニ、家電量販店など**小売業**



1-① 『第3次産業活動指数』 とは

＝第3次産業の活発さを表す統計
指数が大きいほど、活動が盛ん

Q2. 指数とは？

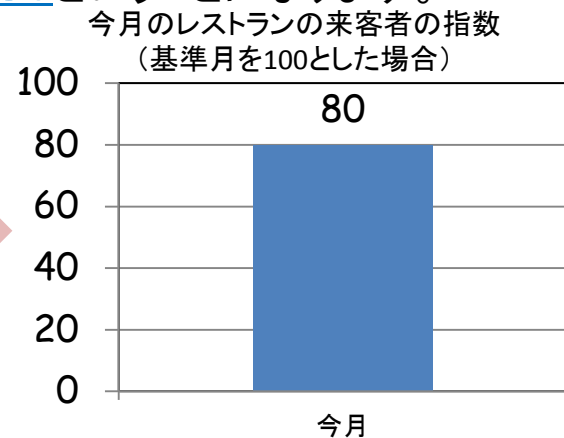
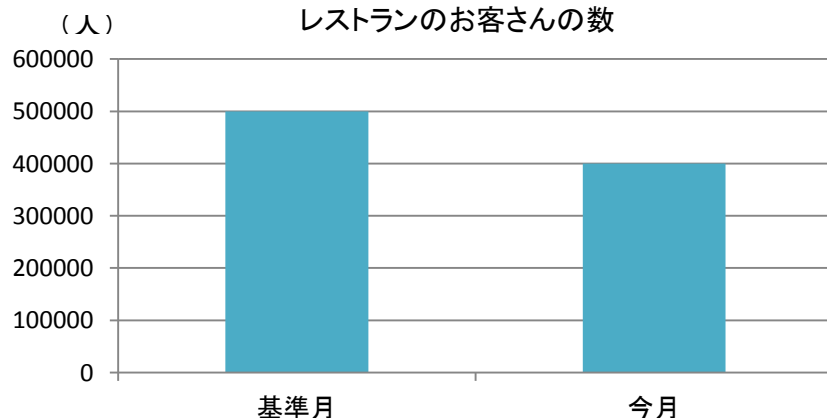
※経済産業省が毎月公表

A2. ある時点を100としたときの別の時点での相対的な値

例: 基準となる月に、全国のレストランに**50万人**のお客さんが来ました。

今月は、全国のレストランに**40万人**のお客さんが来ました。

この場合、今月のレストランの来店者の指数は、基準時の**50万人**を**100**とすると、
今月のレストランの来客者は**40万人**なので、**80**ということになります。



1-② 第3次産業活動指数から分かること

① 第3次産業全体の好不調

② 第3次産業全体の時点ごとの好不調(年、年度、四半期、月単位)

第3次産業活動指数(平成26年1月~7月)グラフ

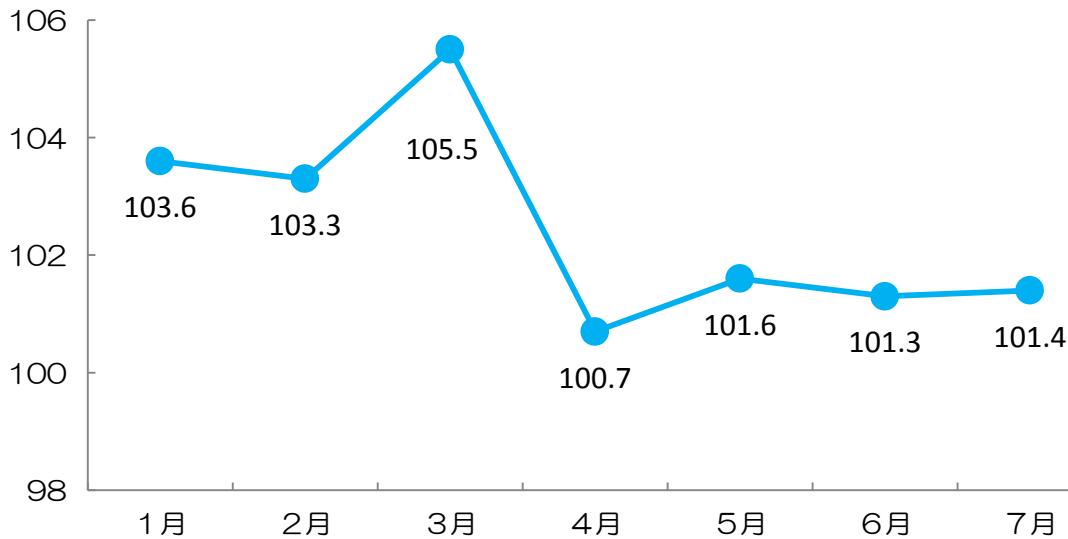


表 第3次産業活動指数

平成26年	前月比 (%)
1月	103.6
2月	103.3 ▲ 0.3
3月	105.5 2.1
4月	100.7 ▲ 4.5
5月	101.6 0.9
6月	101.3 ▲ 0.3
7月	101.4 0.1

平成26年の3月から比べて4月は落ちました。前月比▲4.5%です
計算方法: $(100.7 \div 105.5 \times 100) - 100 = -4.5 \%$

これは消費税率が4月から8%に上がったことと関係がありそうです。

1-② 第3次産業活動指数から分かること

③ 大分類や内訳業種ごとの好不調

Q. 外食ビジネスは盛んか？

⇒ 公表資料8ページ「飲食店、飲食サービス業」の指数



Q. 金融業界のここ3か月の調子は？

⇒ 公表資料6ページの「金融業」の指数



④ 各大分類、内訳業種が第3次産業全体に占める割合

(第3次産業全体の中で卸売業が占める割合、など)

⇒ 公表資料の4ページ以降、各産業の〈ウエイト〉

⑤ 各大分類の好不調に大きく影響を与えた業種名

(生活娯楽関連サービスの好調の要因は遊園地・テーマパークなど)

⇒ 公表資料の2ページ、〈寄与した主な内訳分類業種〉

などいろいろ読み取れます！！

2. 第3次産業活動指数 冊子の見方

<http://www.meti.go.jp/statistics/tyo/sanzi/result-2.html>

内 最新公表資料(PDF形式) よりダウンロード

<公表資料の目次>

概要	P1～P3
大分類11業種＋主要な内訳業種の推移	P4～P8
観光、スポーツ関連などに再編集した分析用系列の推移	P9～P12
百貨店、遊園地・テーマパークなど細かい業種の推移	P13～P20

これから、経産省が毎月作成している公表資料を使って、公表資料のページ順に、第3次産業活動指数(3次指数)の見方や使い方について、説明しようと思います。

第3次産業活動指数を縮めて「3次指数」と呼ぶこともあります。
※このマニュアルでも以降は「3次指数」とします。

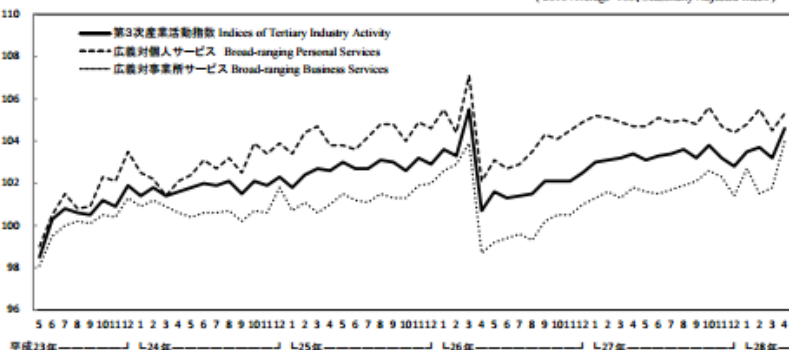
2-① P1の見方 概要

— 第3次産業活動は一進一退 —

- 第3次産業活動指数は、104.6、前月比1.4%と2か月ぶりの上昇となった。
- 第3次産業活動指数を個人向けと事業所向けに分けてみると、広義対個人サービスは、105.3、前月比0.8%と2か月ぶりの上昇、広義対事業所サービスは、104.0、同2.2%と2か月連続の上昇となった。
- 総じてみれば、第3次産業活動は一進一退で推移している。

	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index	
	前月比(%) %Change of Previous Month	前年同月比(%) %Change of Previous Year	前月比(%) %Change of Previous Month	前年同月比(%) %Change of Previous Year
第3次産業活動指数 Indices of Tertiary Industry Activity	104.6	1.4 (2か月ぶりの上昇)	102.5	1.1 (4か月連続の上昇)
広義対個人サービス Broad-ranging Personal Services	105.3	0.8 (2か月ぶりの上昇)	103.7	0.6 (2か月ぶりの上昇)
広義対事業所サービス Broad-ranging Business Services	104.0	2.2 (2か月連続の上昇)	101.3	1.5 (13か月連続の上昇)

第3次産業活動指数の推移 Trends of Indices of Tertiary Industry Activity
平成22年=100、季節調整済指数 (2010 Average=100, Seasonally Adjusted Index)



上昇に寄与した主な業種の動き(前月比%)

- 卸売業(3.5%)
医薬品・化粧品等卸売業(16.3%)は上昇。
機械器具卸売業(5.2%)は、産業機械器具卸売業(19.3%)、電気機械器具卸売業(3.5%)が増加したことから上昇。
- 事業者向け関連サービス(4.6%)
技術サービス業(11.1%)は、土木・建築サービス業(37.4%)が増加したことから上昇。
- 金融業、保険業(3.1%)
金融商品取引業、商品先物取引業(6.0%)は、流通業務(8.0%)が増加したことから上昇。
- 情報通信業(2.4%)
情報サービス業(1.7%)は、ソフトウェア業(6.2%)、情報処理・提供サービス業(1.3%)が増加したことから上昇。

低下に寄与した主な業種の動き(前月比%)

- 医療、福祉(▲1.3%)

上段: 今月の3次指数まとめ

- この月の3次指数の値と前月との変化についてまとめのコメント
- 個人向け、事業所向けに分けてみた値と前月の変化についてまとめのコメント
- 指数の動きをみての基調判断

中段: 3次指数の推移

- ここ5年の3次指数の推移(折れ線グラフ)

下段: 主な業種の動き

- 上昇、低下に寄与した主な業種とその前月比

次のスライドから、それぞれのボックスごとに、見方/使い方について説明します。

2-① P1の見方

P1、上段のボックス(基調判断・指数の値)

— 第3次産業活動は一進一退 —

基調判断

- ・ 第3次産業活動指数は、104.6、前月比1.4%と2か月ぶりの上昇となった。
- ・ 第3次産業活動指数を個人向けと事業所向けに分けてみると、
広義対個人サービスは、105.3、前月比0.8%と2か月ぶりの上昇、
広義対事業所サービスは、104.0、同2.2%と2か月連続の上昇となった。
- ・ 総じてみれば、第3次産業活動は一進一退で推移している。

◇ 基調判断とは

→最近の指数の動きをみて、その傾向をひと言で表したもの

- ・平成27年10月・・・「持ち直しの動きがみられる」
- ・平成27年11月・・・「一進一退」
- ・平成27年12月～28年3月・・・「一進一退ながら一部に弱さがみられる」
- ・平成28年4月・・・「一進一退」

◇ 第3次産業活動指数とは

→平成22年(2010年)の12か月分の平均を100として、**今月の第3次産業の「活発さ」**

(お客様の数や提供したサービス量)が、どれ位の比率になっているのかを、

小数点1位までの数字で示したもの

・7月は数値が100より**高い** → 平成22年全体の平均と比べて**活発である**

2-① P1の見方

P1、上段のボックス(前月比)

— 第3次産業活動は一進一退 —

- 第3次産業活動指数は、104.6、**前月比1.4%と2か月ぶりの上昇**となった。
- 第3次産業活動指数を個人向けと事業所向けに分けてみると、
広義対個人サービスは、105.3、前月比0.8%と2か月ぶりの上昇、
広義対事業所サービスは、104.0、同2.2%と2か月連続の上昇となった。
- 総じてみれば、第3次産業活動は一進一退で推移している。

◇ 前月比とは

→ 今月の指数値から前の月の指数値を差し引いて、前の月の指数値で割ったもの
前月比が **プラス** → 前月より**勢いあり!!**
マイナス → " **勢いなし...**

◇ 前月比を使うメリット

→ 前の月から、今月にかけての第3次産業が
良い方向に向かったのか、**悪い方向に向かった**のかを見られる

2-① P1の見方

P1、上段のボックス(今月のまとめ)

— 第3次産業活動は一進一退 —

- ・ 第3次産業活動指数は、104.6、前月比1.4%と2か月ぶりの上昇となった。
- ・ 第3次産業活動指数を個人向けと事業所向けに分けてみると、
広義対個人サービスは、105.3、前月比0.8%と2か月ぶりの上昇、
広義対事業所サービスは、104.0、同2.2%と2か月連続の上昇となった。
- ・ 総じてみれば、第3次産業活動は「**一進一退**」で推移している。



★第3次産業活動指数は大きく2つに分けることができる。

広義対個人サービス…主に個人向けにサービスを提供する業種(外食、百貨店など)

広義対事業所サービス…主に企業向けにサービスを提供する業種(商社、貨物運送など)

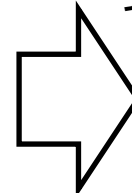
今月は個人向けのサービスが良かったのか？
それとも企業向けが良かったのか？

それぞれの指数で、前月と比べて今月の値が

大きい

同じ

小さい



それぞれ「**上昇**」

「**横ばい**」と表記

「**低下**」

2-① P1の見方

P1、上段ボックス下の表

平成22年=100
2010 Average=100

	季節調整済指数 Seasonally Adjusted Index		原指数 Original Index	
		前月比(%) %Change of Previous Month		前年同月比(%) %Change of Previous Year
第3次産業活動指数 Indices of Tertiary Industry Activity	103.3	0.1 (2か月ぶりの上昇)	102.2	1.7 (5か月連続の上昇)
広義対個人サービス Broad-ranging Personal Services	104.7	▲ 0.3 (2か月連続の低下)	106.9	1.2 (5か月連続の上昇)
広義対事業所サービス Broad-ranging Business Services	101.6	0.5 (2か月ぶりの上昇)	97.9	2.3 (5か月連続の上昇)

・季節調整済指数

＝月々の指数の動きのクセ
(年度末の3月はよく物が売れる、など)
毎年繰り返す季節的な変動を取り除いた数字

→季節ごとのクセをなくしているので、
前月比を見るのが効果的

・原指数

＝月々の指数のクセをそのまま
含んでいる、実績のままの数字

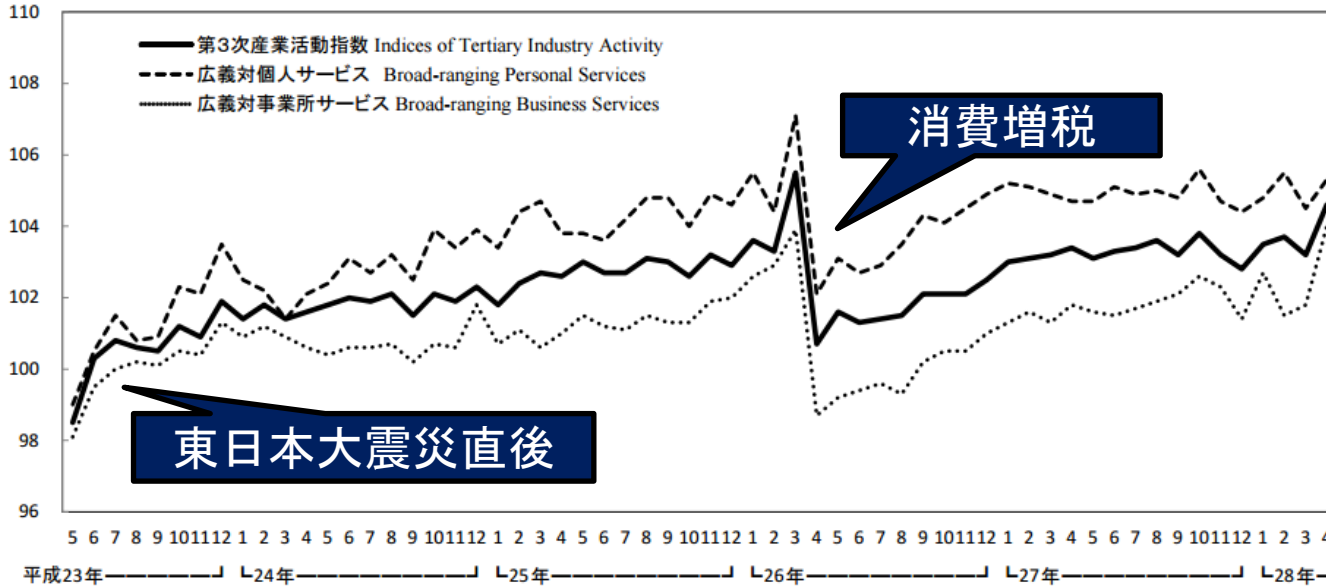
季節ごとのクセが残っている数字なので
前月比を見ても効果がない
→**前年同月比**と比べるのが効果的

2-① P1の見方

P1、中段のグラフ(折れ線グラフ)

第3次産業活動指数の推移 Trends of Indices of Tertiary Industry Activity

平成22年=100、季節調整済指数
(2010 Average=100, Seasonally Adjusted Index)



→ 今月を含む過去5年間の
毎月の指数の動きを線で表現したもの

~このグラフの特徴~
第3次産業活動指数の推移が
視覚的に捉えられる

わかること
グラフから

通常時は緩やかに上昇傾向

サービスの活動に影響する
大きな出来事があると急に落ちる

2-① P1の見方

P1、下段の説明(主な業種の動き)

ここでは、今月の上昇(低下)に第3次産業を大きく動かした業種を紹介しています。

上昇に寄与した主な業種の動き(前月比%)

- (1)卸売業(3.5%)
医薬品・化粧品等卸売業(16.3%)は上昇。
機械器具卸売業(5.2%)は、産業機械器具卸売業(19.3%)、電気機械器具卸売業(3.5%)が増加したことから上昇。
- (2)事業者向け関連サービス(4.6%)
技術サービス業(11.1%)は、土木・建築サービス業(37.4%)が増加したことから上昇。
- (3)金融業、保険業(3.1%)
金融商品取引業、商品先物取引業(6.0%)は、流通業務(8.0%)が増加したことから上昇。
- (4)情報通信業(2.4%)
情報サービス業(1.7%)は、ソフトウェア業(6.2%)、情報処理・提供サービス業(1.3%)が増加したことから上昇。

低下に寄与した主な業種の動き(前月比%)

- (1)医療、福祉(▲1.3%)

上昇方向へ引っ張った4業種

低下方向へ引っ張った1業種

(2)事業者向け関連サービス(4.6%)

技術サービス業(11.1%)は、土木・建築サービス業(37.4%)が増加したことから上昇。

大分類

内訳業種

さらに細かい業種

※大分類、内訳業種は上昇(低下)の寄与度が大きい順に並んでいます。

上昇方向、低下方向に引っ張った力の大きさ

2-② P2の見方 概要

《 上昇に寄与した業種 》

業種名	前月比(%) (寄与度)	前年同月比(%)	寄与した主な内訳業種
卸売業	3.5 (0.49)	2.4	医薬品・化粧品等卸売業 産業機械器具卸売業 電気機械器具卸売業
事業者向け関連サービス	4.6 (0.35)	4.6	土木・建築サービス業
金融業、保険業	3.1 (0.31)	▲ 0.1	流通業務
情報通信業	2.4 (0.26)	1.7	ソフトウェア業 情報処理・提供サービス業
不動産業	1.9 (0.15)	1.0	マンション分譲業 戸建住宅売買業 貸事務所業
運輸業、郵便業	0.8 (0.07)	▲ 0.3	一般貨物自動車運送業

このページは、今月の第3次産業指数の大分類11業種のうち、前の月との比較で、指数が**上昇した業種**、**低下した業種**、**横ばいの業種**をリストとして掲載しています。

上昇した業種



《 低下に寄与した業種 》

業種名	前月比(%) (寄与度)	前年同月比(%)	寄与した主な内訳業種
医療、福祉	▲ 1.3 (▲ 0.18)	3.3	
電気・ガス・熱供給・水道業	▲ 2.2 (▲ 0.06)	▲ 3.7	
小売業	▲ 0.2 (▲ 0.02)	▲ 0.7	機械器具小売業 各種商品小売業
生活娯楽関連サービス	▲ 0.1 (▲ 0.01)	▲ 1.6	プロスポーツ(スポーツ系興行団) スポーツ施設提供業
物品賃貸業(自動車賃貸業を含む)	▲ 0.2 (▲ 0.01)	1.7	

低下した業種



※大分類のリストは寄与度が大きい順に並んでいます。

(注) 1. 業種は第3次産業総合の前月比への寄与度の大きい順に掲載しています。
2. 寄与度とは、あるデータ全体の変化に対して、その構成要素である個々のデータの変化がどの程度貢献しているかを示す指標です。

2-② P2の見方

2ページ目、横方向の見方

大

寄与度

小

業種名	前月比(%) (寄与度)	前年同月比(%)	寄与した主な内訳業種
卸売業	3.5 (0.49)	2.4	医薬品・化粧品等卸売業 産業機械器具卸売業 電気機械器具卸売業

業種の名前

その業種の**前月比**と**前年同月比**

◇寄与した主な内訳業種

各大分類の業種の上昇、低下の**主な要因**となっている**内訳分類の業種**です。この表では、卸売業が上昇した要因として、医薬品・化粧品等卸売業などの上昇が挙げられています。

※内訳業種のリストは、**寄与度の大きい順**に0~3つ並んでいます。

2-② P2の見方

2ページ目、横方向の見方

業種名	前月比(%) (寄与度)	前年同月比(%)	寄与した主な内訳業種
卸売業	3.5 (0.49)	2.4	医薬品・化粧品等卸売業 産業機械器具卸売業 電気機械器具卸売業

※「内訳業種」の名前についてのご注意

○各分類の業種の名称は、必ずしも、1つの単語となっている訳ではありません!

「、」がある所が
業種の切れ目です

ex. 「宿泊業, 飲食サービス業」

「食堂, レストラン, 専門店」

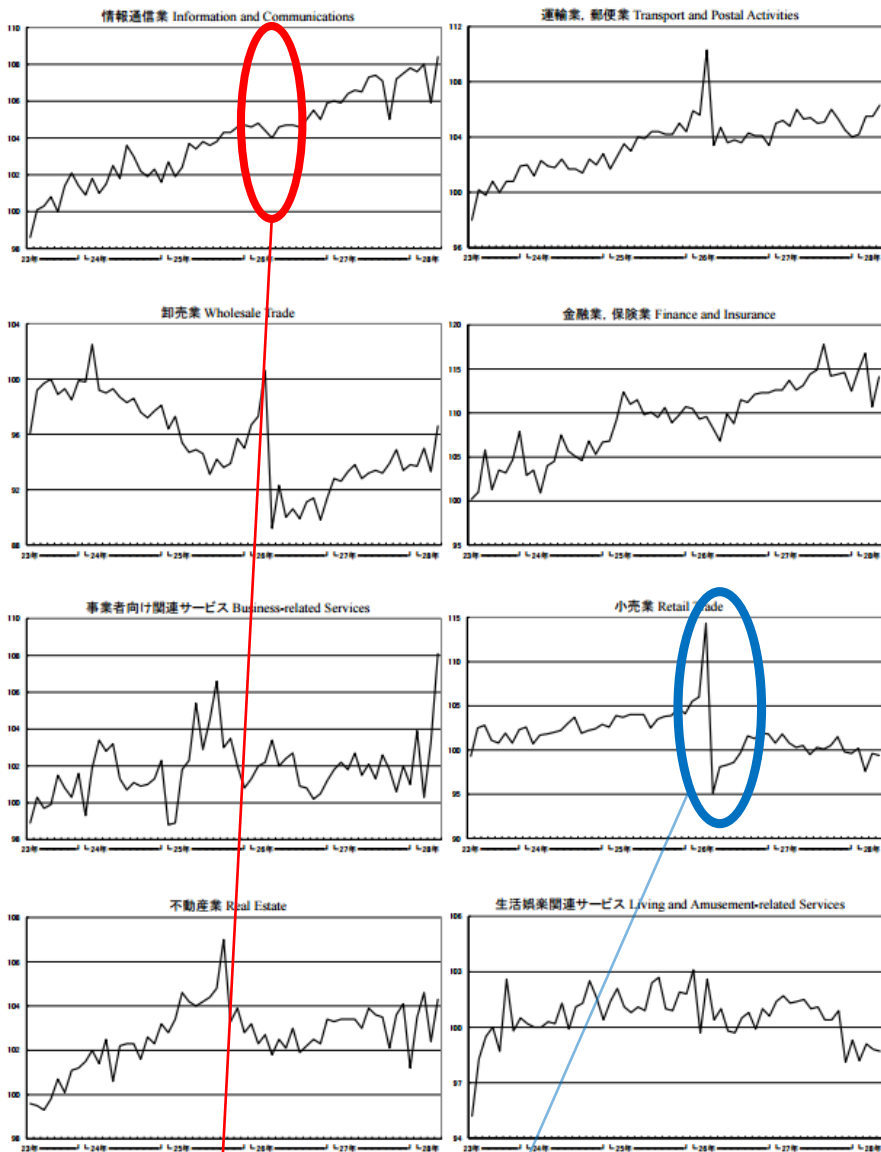
➡ 1つの業種名

「飲食料品卸売業、建築材料、鉱物・金属材料等卸売業」 ➡ 2つの業種名

業種の名前が分かりにくく、
本当に申し訳ありません。
おわびします。

業種の名前については、
公表資料P13以降の「業種分類別活動指数」
表の「分類名」で確認をお願いします。





情報通信業はあまり変化がみられないが、
小売業は駆け込み後の低下幅が大きい。

2-③ P3の見方

「主要業種」の指数のグラフ

「情報通信業」や「卸売業」といった
主要な業種の5年分の推移がわかります。

※このページの使いみち

- ① 掲載期間が長いので、その業種がここ数年で上向きなのか、下向きなのかといった、大きな印象を確認できる
- ② 業種ごとに同時期の数字を比べることができる

ex.消費税率増税の
時期を比べると、その
影響に大小があること
がわかる



2-④ P4~8の見方概要

比(季節調整済指数)	ウエイト	第3次産業総合 Tertiary Industry		広義対個人サービス Broad-ranging Personal Services		広義非選択的個人向けサービス Broad-ranging Essential Personal Services		広義し好的個人向けサービス Broad-ranging Non-essential Personal Services		広義対事業所サービス Broad-ranging Business Services		Weight	
		10000.0	4846.2	2641.1	2205.1	5153.8	伸び率(%) %Change		伸び率(%) %Change		伸び率(%) %Change		
							伸び率(%) %Change	伸び率(%) %Change	伸び率(%) %Change	伸び率(%) %Change	伸び率(%) %Change		伸び率(%) %Change
比(季節調整済指数)	平成27年 1期	103.1	0.9	105.1	0.6	107.4	0.8	102.3	0.5	101.4	0.7	Q1 2015	
	II期	103.3	0.2	104.8	▲0.3	107.4	0.0	102.0	▲0.3	101.6	0.2	Q2	
	III期	103.4	0.1	104.9	0.1	107.7	0.3	101.6	▲0.4	101.9	0.3	Q3	
	IV期	103.3	▲0.1	104.9	0.0	107.9	0.2	100.8	▲0.8	102.1	0.2	Q4	
	平成28年 1期	103.5	0.2	104.9	0.0	108.8	0.8	100.6	▲0.2	102.0	▲0.1	Q1 2016	
	平成27年 2月	103.1	0.1	105.1	▲0.1	107.1	▲0.4	102.4	0.0	101.6	0.3	Feb. 2015	
	3月	103.2	0.1	104.9	▲0.2	107.6	0.5	102.2	▲0.2	101.3	▲0.3	Mar.	
	4月	103.4	0.2	104.7	▲0.2	107.1	▲0.5	102.0	▲0.2	101.8	0.5	Apr.	
	5月	103.1	▲0.3	104.7	0.0	107.3	0.2	102.1	0.1	101.6	▲0.2	May	
	6月	103.3	0.2	105.1	0.4	107.9	0.6	101.8	▲0.3	101.5	▲0.1	Jun.	
	7月	103.4	0.1	104.9	▲0.2	107.5	▲0.4	102.0	0.2	101.7	0.2	Jul.	
	8月	103.6	0.2	105.0	0.1	107.9	0.4	101.6	▲0.4	101.9	0.2	Aug.	
9月	103.2	▲0.4	104.8	▲0.2	107.8	▲0.1	101.2	▲0.4	102.1	0.2	Sep.		
10月	103.8	0.6	105.6	0.8	108.3	0.5	101.4	0.2	102.6	0.5	Oct.		
11月	103.2	▲0.6	104.7	▲0.9	107.9	▲0.4	100.7	▲0.7	102.3	▲0.3	Nov.		
12月	102.8	▲0.4	104.4	▲0.3	107.6	▲0.3	100.4	▲0.3	101.4	▲0.9	Dec.		
平成28年 1月	103.5	0.7	104.8	0.4	108.3	0.7	100.5	0.1	102.7	1.3	Jan. 2016		
2月	103.7	0.2	105.5	0.7	109.1	0.7	101.2	0.7	101.5	▲1.2	Feb.		
3月	103.2	▲0.5	104.5	▲0.9	109.0	▲0.1	100.0	▲1.2	101.8	0.3	Mar.		
4月	104.6	1.4	105.3	0.8	109.7	0.6	100.5	0.5	104.0	2.2	Apr.		
比(原指数)	平成 25年	102.7	0.8	104.2	1.3	105.2	1.0	103.1	1.6	101.3	0.4	C.Y. 2013	
	26年	102.3	▲0.4	104.1	▲0.1	105.9	0.7	101.9	▲1.2	100.6	▲0.7	2014	
	27年	103.2	0.9	104.9	0.8	107.5	1.5	101.7	▲0.2	101.7	1.1	2015	
	平成 25年度	103.2	1.2	104.6	1.3	105.3	0.7	103.8	1.9	101.9	1.2	F.Y. 2013	
	26年度	102.1	▲1.1	103.9	▲0.7	106.4	1.0	101.1	▲2.6	100.4	▲1.5	2014	
	27年度	103.4	1.3	105.0	1.1	108.0	1.5	101.4	0.3	102.0	1.6	2015	
	平成27年 1期	103.0	▲0.8	103.5	▲0.5	107.8	1.8	98.5	▲3.2	102.5	▲1.0	Q1 2015	
	II期	101.9	1.9	104.4	2.0	106.4	1.7	102.0	2.2	99.5	1.8	Q2	
	III期	103.6	1.6	105.7	1.2	107.4	1.4	103.6	1.0	101.6	1.8	Q3	
	IV期	104.4	1.0	105.9	0.5	108.6	1.3	102.7	▲0.6	103.0	1.5	Q4	
	平成28年 1期	103.9	0.9	104.1	0.6	109.7	1.8	97.5	▲1.0	103.7	1.2	Q1 2016	
	平成27年 2月	97.4	0.3	97.7	0.8	103.6	1.5	90.6	▲0.1	97.1	▲0.3	Feb. 2015	
	3月	113.2	▲1.8	110.7	▲2.0	114.0	2.2	106.7	▲7.1	115.5	▲1.6	Mar.	
	4月	101.4	2.6	103.1	2.3	105.0	1.6	100.7	2.9	99.8	3.1	Apr.	
	5月	100.4	0.7	106.1	1.3	105.3	0.2	107.0	2.7	95.1	0.1	May	
	6月	103.8	2.4	104.0	2.3	108.8	3.1	98.2	1.0	103.7	2.5	Jun.	
	7月	104.2	1.9	107.0	1.9	108.9	1.9	104.7	1.8	101.5	1.7	Jul.	
	8月	102.5	2.0	107.2	1.5	107.5	2.0	106.8	0.9	98.2	2.6	Aug.	
	9月	104.1	0.8	102.9	0.3	105.9	0.5	99.4	0.1	105.2	1.2	Sep.	
	10月	102.9	1.6	104.4	1.6	107.0	1.1	101.3	2.2	101.5	1.6	Oct.	
	11月	100.9	1.4	103.1	0.3	105.6	2.2	100.1	▲2.0	98.9	2.5	Nov.	
	12月	109.4	0.0	110.1	▲0.5	113.1	0.6	106.6	▲2.0	108.7	0.5	Dec.	
	平成28年 1月	98.6	0.2	101.8	▲0.4	105.9	0.2	97.0	▲1.1	95.6	0.7	Jan. 2016	
	2月	99.8	2.5	100.2	2.6	107.9	4.2	91.0	0.4	99.5	2.5	Feb.	
3月	113.3	0.1	110.4	▲0.3	115.4	1.2	104.5	▲2.1	116.0	0.4	Mar.		
4月	102.5	1.1	103.7	0.6	106.9	1.8	99.9	▲0.8	101.3	1.5	Apr.		

主要業種別指数時系列表

指数と伸び率の時系列表を各業種ごとに載せています。

季節調整済指数は前期比、前月比で

原指数は前年比、前年同期比、前年同月比で伸び率を出しています。

季節調整済指数

原指数

-使いどき-
 興味のある業種、必要な業種について細かく見たい時

2-④ P4～8の見方

-表の上段の見方(季節調整済指数)-

		第3次産業総合	
		Tertiary Industry	
		伸び率(%)	
		%Change	
ウエイト		10000.0	
季節調整済指数・前月(期)比 Adjusted Index / %Change From Previous Month(Quarter)	平成27年 I期	103.1	0.9
	II期	103.3	0.2
	III期	103.4	0.1
	IV期	103.3	▲ 0.1
	平成28年 I期	103.5	0.2
	平成27年 2月	103.1	0.1
	3月	103.2	0.1
	4月	103.4	0.2
	5月	103.1	▲ 0.3
	6月	103.3	0.2
	7月	103.4	0.1
	8月	103.6	0.2
	9月	103.2	▲ 0.4
10月	103.8	0.6	
11月	103.2	▲ 0.6	

「前期比」

=直近の3か月とその前の3か月との比較
(過去5四半期分)

四半期を使うメリット

月々の変化には、「ぶれ」があり、安定しない場合もある。

四半期(3か月)単位で見ると、より安定した数値になり、上昇低下の傾向がわかりやすい。

「前月比」

=月単位の変化の比率

▲(マイナス)が時系列表で集まっている部分に注目!
=第3次産業総合に比べて、縦列が黒く見える業種は、変化の勢いが弱い(前期比や前月比)

2-④ P4～8の見方

-表の下段列の見方(原指数)-

原指数・前年(同月・同期)比	Original Index / %Change From Previous Year		
平成 25 年	102.7	0.8	
26 年	102.3	▲ 0.4	
27 年	103.2	0.9	
平成 25 年度	103.2	1.2	
26 年度	102.1	▲ 1.1	
27 年度	103.4	1.3	
平成27 年 I 期	103.0	▲ 0.8	
II 期	101.9	1.9	
III 期	103.6	1.6	
IV 期	104.4	1.0	
平成28 年 I 期	103.9	0.9	
平成27 年 2月	97.4	0.3	
3月	113.2	▲ 1.8	
4月	101.4	2.6	
5月	100.4	0.7	

「前年比」

=1月～12月までの指数の平均の
今年と去年の比較(過去3年分)

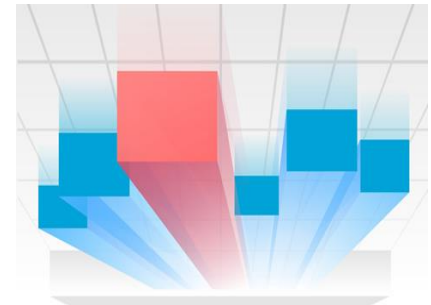
「前年度比」

=対象時期が、4月～翌年3月までのもの



年や年度の単位で、それぞれの業種が
活発に活動していたかどうかわかる！！

第3次産業総合が、
去年よりも**0.9%**
上昇した、
という意味



2-⑤ P9～12の見方

「再編集系列」で様々な観点で見た
景気の動向がわかる！！

通常の業種分類とは別に、観光やスポーツなどに関連するサービスなどの属性で分類、総合化した特別な編集系列「再編集系列」を時系列表にして掲載しています。
ここではその中の一部を紹介します。

- <広義し好的個人向けサービス>・・・生活や楽しみのために利用するサービス
- <観光関連産業>・・・観光や旅行のために利用するサービス
- <スポーツ関連産業>・・・スポーツをするorスポーツ観戦のために利用するサービス
- <設備型サービス>・・・「人」よりも「設備」にお金をかけているサービス(電気・ガス・水道、通信など)
- <人手型サービス>・・・「設備」よりも「人」にお金をかけているサービス(外食、小売など)

個人がどんなことにお金をつづけているのか？
旅行？スポーツ？

どういった業種のサービスが盛り上がっているのか？
設備投資にお金をかけるようなサービス？
従業員への給料にお金をかけるようなサービス？

2-⑥ P13～20の見方

「業種分類別活動指数」では、大分類業種よりも細かい業種の指数値と前月比、前年同月比を見ることができます。

例えば、

- ・バス、タクシー
- ・マンション分譲
- ・遊園地・テーマパーク
- ・ファーストフード店

など、身近なサービスの最近3か月動きを見ることができます。

業種分類別活動指数【直近3ヵ月】

Recent Data of Indices of Tertiary Industry Activity and Industry-Classified Indices

平成22年=100

ここ2ヶ月で見る前月比 今月分の前年同月比

分類名	ウェイト Weight	季節調整済み指数 Seasonally Adjusted Index					原指数 Original Index				
		2月 Feb.	3月 Mar.	4月 Apr.	前月比 %Change From Previous Month	寄与度 Contribution to %Change	2月 Feb.	3月 Mar.	4月 Apr.	前年同月比 %Change From Previous Year	寄与度 Contribution to %Change
第3次産業総合 Tertiary Industry	10,000.0	103.7	103.2	104.6	1.4		99.8	113.3	102.5	1.1	
電気・ガス・熱供給・水道業 Electricity, Gas, Heat Supply and Water	298.0	89.9	92.8	90.8	▲ 2.2	▲ 0.06	95.5	95.5	84.4	▲ 3.7	▲ 0.09
電気業 Production, Transmission and Distribution of Electricity	162.7	83.0	85.5	84.8	▲ 0.8	▲ 0.01	92.1	90.0	76.0	▲ 7.2	▲ 0.09
ガス業 Manufacture of Gas	38.4	98.4	104.0	103.8	▲ 0.2	0.00	120.1	116.5	97.9	1.5	0.01
熱供給業 Heat Supply	2.7	89.3	88.2	88.0	▲ 0.2	0.00	88.2	77.6	61.4	▲ 4.1	0.00
水道業 Water Supply and Sewage	94.2	96.9	97.0	96.4	▲ 0.6	▲ 0.01	91.4	96.8	94.0	▲ 0.6	▲ 0.01

内訳の業種名

各分類のウェイト

前月比の寄与度

前年同月比の寄与度